





チーズケーキとひとことに言っても、使うチーズによってその味わいは全く変わってくる。このケーキは、店内で手作りする優しく軽みのある、爽やかな酸味のあるチーズが特徴。食の安全への意識が目覚め作ってみた、手作りフレッシュチーズの意外なおいしさがきっかけで店を始めた。

ベイクトチーズケーキとレアチーズケーキの2種は定番、その時々々のアレンジも数種類楽しめる。

むに。さんに初めて来た時から、感激屋さんの常連さんは、なにつけても大喜びで見たり食べたりしているのだが「このチョコレートチーズケーキが大好きで〜！」と褒めちぎると、店主の廣瀬さんは「お家で作って見たら？」と説明しながらレシピを書き留め、渡している。「うちのケーキのレシピはホームメイドのケーキで、特別なのはチーズだけなんです」とあつさりしている。

棚には様々な作り手による手作り雑貨が並ぶ。キャンドルやサンキャッチャー、革小物など。むに。に通ううちに、作ったものを店頭に置いてもらうようになってお客様も居る。

こう言うと大げさになるけれど「ケーキを作って売するための店」だけでなく、人と人をつなげる「場」として店をつかい、お客様の毎日に小さな革命や発見を生み出していると感じた。

チーズケーキと雑貨の店むに。

営業時間 10:00~17:00
水・日・祝日定休
TEL 090-8170-4727
松本市大手5-7-18

左上: ニューヨークチーズケーキとチョコレートチーズケーキは日替わりの品
右: 常連のタカハシさん。店内にはイトインスペースもある。 左下: 店主の廣瀬さんと、壁画。壁画は高田美果さん、詩は原山聡矢さんによるもの。
右下: 店内のあちこちに描かれた猫を探してみてください





ガラスの扉に沿うように、横に長くカウンターの席が並ぶ店。暖簾に書かれた手書きの店名はかわいさもあり、親しみやすい感じ。昼間の取材だったため、明るく風通しの良い店内で呑むのは気持ちがよく、特別感がある。キビキビと働きながら、きさくに対応する店主の吉田さん。登山が好きで県外から移住してきたアウトドアショップの元店長だ。店のお客様には山好きの人も多く、下山してから電車で帰る間に寄ってくる人も居るので、週末の営業時間は早めの開店にしている。

二〇一九年年末、開店。オープン直後からコロナ禍で大変ですね、と言うと、店のオペレーションをしつかり整える時間が貰えたと思うてる。と前向きだ。

酒と雪

営業時間 17:00～22:00L.O.
土 14:00～21:00L.O.
(スノーシーズンの土は16:00～)
日祝 16:00～21:00L.O.
月曜日と第2・第4日曜日定休
松本市大手4-6-18 はしご横丁

右:特徴的なのは、県内の日本酒定番8種、黒板メニュー8種の常時16種が呑めること。配達してくれる酒屋だけでは揃わないため、酒屋に向いて仕入れてくる
左上:テレマークスキーにはまっていたと言う吉田さん。ポスターに写っているのはなんとご自身!ソルトレクシティーにて。店内には他にも山にまつわるものがあちこちに飾られていて、楽しい



私のうらまち

1980年代



佐藤 文子

俳人。『信濃俳句通信』を創刊、主宰。
甲信地区現代俳句協会会長、(一社)松本芸術文化協会会長
松本平タウン情報「私の半生」聞き書き連載は、およそ20年間で130人程を取材

私は三重県生まれ、北九州育ち。主人との縁で結婚式のため初めて松本にきました。住むことになったのが、主人の実家で裏町にあった、しもた屋(商売をしていない家や店を閉めて住宅として使っている家のこと)でした。お姑さんには、「ごみ出しに出てそのまま道で立ち話してはいけないわよ」と言われたりして。だから住みはじめた頃は、周りの人たちとの交流はあまりありませんでした。

当時の裏町は朝の4時まで賑やかな繁華街だったから、主人の同僚が真夜中に「一緒に飲もう」と言ったら玄関の戸を叩いてくることもありました。私も、松本暮らしが長くなり知り合いが出来てくると、「居酒屋に居るからいらっしやいよ」と呼び出しがかかるなんてこともよくありました。お酒は呑めないのだけどね。そうやって裏町で聞いた沢山の恋の話や見た景色を詩に書いたものに、遠藤実先生が作曲してくださったのが「うらまち慕情」。それを八汐垂矢子さんが唄って「大正琴音頭」のカップリング曲として発売されました。二〇〇七年の発売だけれど、今も印税が少しながらも入ってくるというところは、きつと、カラオケで歌ってくれてる人がいるんですね。

八汐垂矢子さんのYoutube!
「うらまち慕情」お聞きいただけます。





うらまちと周辺のお店をGoogle Mapで見れます。

<https://qr.paps.jp/vtZFM>



TAKE FREE | ご自由にお持ちください

URA NO MAMA は、定期的に発行予定のフリーペーパーです。
2ヶ月に一度、松本市うらまちの魅力や歴史を紹介していきます。

Instagramアカウント@ura_no_mamaでは
新規発行のお知らせ、配布店の紹介、本誌紙面に掲載
しきれなかった取材写真をご紹介します。



うらまちを通じ松本の街を見直し、松本がもっと楽しくなる。
当マップ配布に協力してくれる店、施設リスト

- ① ベラミ人形店 ② salon as salon ③ cafe chiiann ④ 菜日
- ⑤ フランス惣菜 ルニ ⑥ 横山薬局 ⑦ カモシカスタンド ⑧ ゲストハウス tabi-shiro
- ⑨ そればな ⑩ books電線の鳥 ⑪ 三代澤酒店
- ⑫ たい焼きふるさと ⑬ 飯田屋路店 ⑭ something tender ⑮ ガルガ
- ⑯ てまりや ⑰ Plaire

旅館すぎもと (松本市美ヶ原温泉) CreperieMonkava (松本市島内)
本・中川 (松本市元町) 華陽麵坊 (松本市元町)
オートプラザ諏訪 (諏訪市) 松本マツダオート (松本市平田)

配布にご協力いただける店、施設募集中です。

松本うらまちっくストリート

かつて松本で一番の繁華街だった“うらまち”は時代の波に取り残され、ひっそりと佇んでいる。そこで店舗や地元のみなさんの協力のもと、多彩な町の魅力を発信しつつ新たなアプローチ(エンターテイメント)で活気を取り戻そう!というプロジェクト。2021年10月に演劇公演をうらまちで予定しています。



<https://note.com/uramaticstreet>